



愛され続けて半世紀

以前の建物は昭和44年に建てられました。50年が経過し老朽化に伴い、建て替えることになりました。地域に長く愛され、3代にわたって利用している方もいるそうです。

イメージカラーはさくら色

新しい入口は保育園・児童センターともに西側になりました。近くの桜の大樹を一本橋児童センター・保育園のイメージカラーとしたことから、さくら色を基調とした建物は優しく温かみのある印象です。太陽光パネルが設置され、発電の状況もモニタリングできるそうです。

配置の工夫、特徴は…

1・2階は保育園、3階と屋上が児童センターです。

児童センターには新たにエレベーター、多目的トイレ、ベビーカー置場、おむつ替え室、個別相談室が設置されました。また、スラックライン設置金具を常設した遊戯室や図書室、キッチン付きの集会室、日当たりの良い南側には、乳幼児向けの親子サロンがあります。

区内でも小規模な児童センターの一つですが、収納スペースや設備も充実し、木の温かみを活かしたアットホームな雰囲気になります。50インチのモニターもあり、動画上映会、音楽の練習にも使えそうです。

屋上は防球ネット、バスケットコート、シャワーも完備された開放的な遊び場



↑ ↓ スラックライン設置用の金具が常設された遊戯室



↑ ↓ 本格的キッチンのある集会室

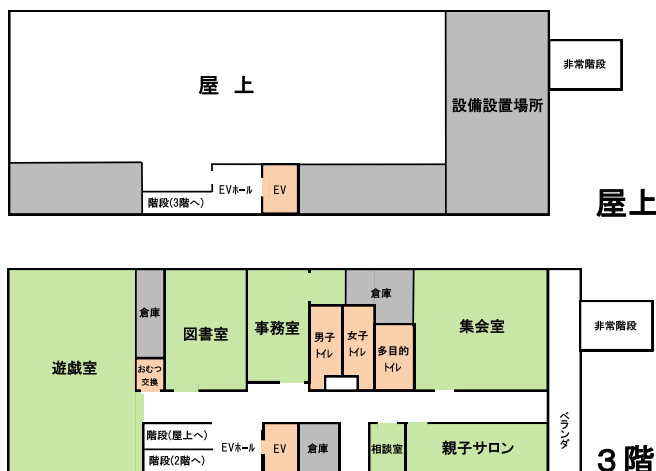


→ 国井館長(中央)と職員の方

となつています。公園では思い切りできないサッカーなどの球技もここなら安心して楽しめそうです。

未就学児におすすめは

0・2歳の未就園児とママ・パパには、年齢別の「親子のひろば」の利用がおすすめです。土曜はパパ向けのイベントも予定しています。地域のお友だちができたり、センターの使い方を知るきっかけになるかも。飲食物の持込みもOKで、キッチンや冷蔵庫も利用できます。ごはんやおやつ、もちろん授乳も館内でどうぞ。雨の日も安心して遊べます。ベビーマッサージや卒乳、離乳食、虫歯予防の講座もあり、夏はプールで水遊びもできる予定です。



一本橋児童センターレイアウト

小学生以上におすすめは

遊戯室は、以前あった大きな柱もなくなつて広々となりました。正面には大きな鏡が全面に設置されダンスの練習などにも最適です。スラックラインは月1回、元日本チャンピオンの方の直接指導も受けられます！集会室には大きなキッチンも設置され、中高生がバレンタインの時期に友チョコを友人同士で作ったりすることだってできます。

保育園や地域との交流

保育園との複合施設ということから、保育園児の日常的な屋上利用、

児童センターとは？

品川区には25館の児童センターがあり、0歳から18歳までの子どもたちとその保護者が利用できます。

遊び場・居場所の提供、イベント・クラブ活動などの事業を実施しています。

■遊ぶにはどうしたらよい？

利用は無料で登録も不要。入館票に記入をして、帰るときは退館チェックの記入をします。

■どんな事ができるの？

赤ちゃんパパママはもちろん、幼稚園や保育園児も午後や土曜に利用すると、小学校入学後も子どもだけで通いやすくなります。小学生になるとお友だちと待合せをして好きな遊びをして過ごしている子が多い様子。室内で遊んだり、体育館で身体を動かしたり。中高生が自由に過ごせる場としても貴重ですよ。



観劇会に参加、合同避難訓練など保育園の園長先生方と相談して、決めていきたいとのこと。また「大井第二地区の地区委員会行事のレッツトライをはじめ、区民まつりや防災訓練、商店街イベントなど、積極的に地域交流をしていきたい。」と国井館長はおっしゃっていました。

時間外の日曜日と月・土曜日の夜間(祝日を除く)は、遊戯室、集会室を地域の方なども貸し切り利用ができます。利用時間により料金は異なりますので、事前に確認してくださいね。